

萩ジオパーク 推進協議会だより vol.62

萩ジオパーク推進協議会

| 2020年4月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>

令和2年度スタート！



新事務局長あいさつ

皆さんこんにちは。4月1日の人事異動により、ジオパーク推進課並びに萩ジオパーク推進協議会事務局長に配属になりました、國光 博基（くにみつ ひろき、写真中央）と申します。以前は、現在の萩ジオパークビジターセンターとなっている「萩・明倫学舎」において、本館及び2号館の管理運営をNPO萩明倫学舎の皆さんと協働で開館当初から行っておりました。職場も同じ本館内で1階から2階になりました。

さて、平成30年の日本ジオパークネットワークへの加盟認定から、萩ジオパークが国内でも高い評価を得ていることはいうまでもありません。大地と人とのつながりを基軸として、地域の皆さんが様々なジオパーク活動を展開されていること、また、学校教育においても地域の皆さんとの連携した学習機会の増加によって、子どもたちの萩ジオパークへの意識、興味が向上していることなど、地域一丸となった萩ジオパーク活動の成果があらわれていると感じているところです。

推進協議会事務局として、引き続き、地域の魅力を全世界へ発信するとともに、さらなる教育、普及、研究活動の展開により一層の地域振興につながるよう、ジオパークの様々な活動による持続可能な地域社会の発展に寄与できればと思っております。ジオパーク活動1年生ではありますが、これから関係の皆様方との連携を一層深めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



山口大学
祝 令和元年度卒業・修了

今年度からは、、、脇田 浩二 先生も！

今年度は、山口大学地域未来創生センター所属となり、これまで以上に萩ジオパークの活動支援に尽力したいと思います。暗いご時世に負けない笑いも、お届けします。「がんばれ！半田くん」を引き続きお楽しみください。

※ 脇田先生は週1日程度萩に来られ、一緒に活動の予定です。

おうちで地球の絶景を楽しもう！



萩ジオパークでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛を応援すべく「萩ジオパークの絶景」と題して、特徴的な地質・地形（笠山や壘ヶ淵、須佐ホルンフェルスなど）の景色と自然の音声が楽しめる環境映像を動画投稿サイトYouTubeに公開しました。

また、同様に日本中のジオパークの絶景が楽しめるよう「ふるさと地球の絶景プロジェクト」と題して、JGNのメンバーに動画投稿を呼びかけています（4/21時点で71件の動画が全国のジオパークから集まっています）。

さらに次の展開として「Our Planet Earth Project」として世界ジオパークネットワークにも呼びかけ、世界中の地質遺産の記録映像の公開とデータベース化を目指しています。これは、新型コロナウイルスの問題が解決した後も、国際社会の持続可能な発展に貢献するものになると考えています。

ご利用方法

YouTubeで「#ourplanetearthproject」と検索をするか、QRコードを読み込んで動画一覧にアクセスしてください（インターネット環境が必要です）。お好きな動画を選択し、ご視聴ください。

景色と自然の音の流れだけのシンプルな内容ですが、その場で実際に景色を眺めているような没入感が得られます。在宅勤務などの休憩時間にコーヒーを飲みながら眺めたり、外出できるようになった時の旅行計画を立てたりするのにご利用ください。



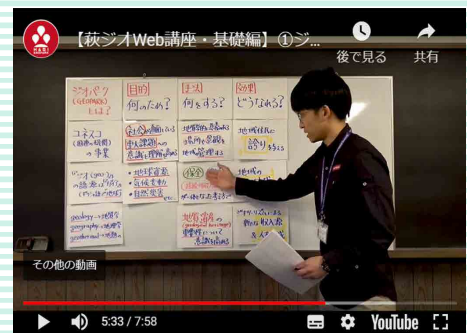
「萩ジオパークWeb講座」も公開中！

<https://sites.google.com/view/hggp-lec/>

イベントや講座が実施できない状況にありますが、インターネット環境があればどこでもお話を聞いていただけるように、「萩ジオパークWeb講座」を新たに開設いたしました。

現在見ていただける内容は、基礎編と題してジオパークの基本的な考え方を白井専門員が動画で解説するものです。

そもそも何のためにジオパークはあるのでしょうか？観光客を増やすことが目的ではありません。地域活性化でもありません。岩石や地層など、私たちに地球の仕組みを教えてくれる存在の重要性を世の中に広めるためです。環境問題や自然災害へ対処するためには、社会が地球の仕組みをもっと知らなくてはならないからです。その活動の“結果”として、観光客が適切に増えることや、地域が活性化するという効果も生み出していきます。続きはぜひ動画でご確認ください。今後は、萩の地質や地形、またそれと関連する生態系や人の暮らしまで、大地と人のつながりがわかるような内容のものも制作して行こうと考えております。お楽しみに。



ジオ・ カメラさんぽ

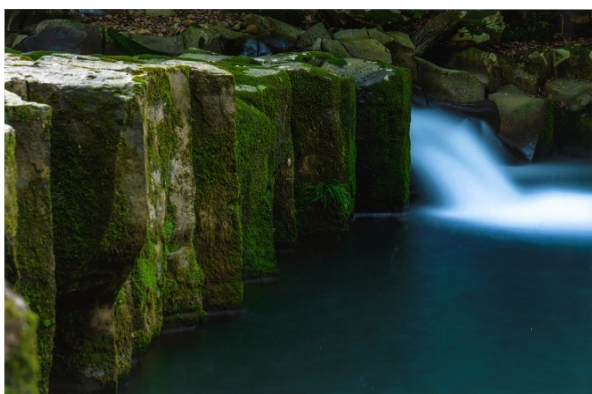
特別編
vol.2

萩ジオパークフォトコンテスト2019

昨年度実施した萩ジオパークフォトコンテスト2019。速報として、最優秀賞の2点を60号で紹介しました。今回は、優秀賞及び入選の写真を紹介します。



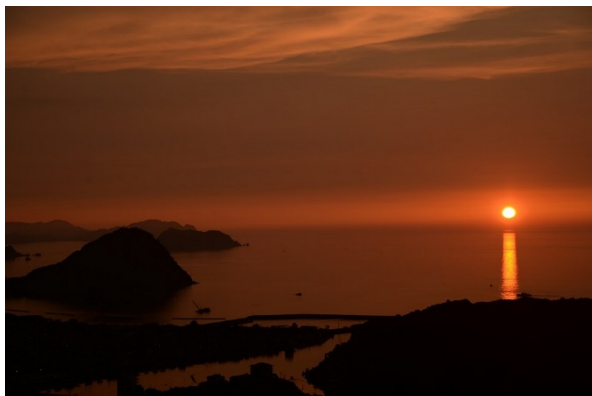
優秀賞【人の暮らし部門】
『歴史を学ぶ』 飯田りえ子（宇部市）



優秀賞【地球の営み部門】
『億年の刻み』 白石 健太（宇部市）



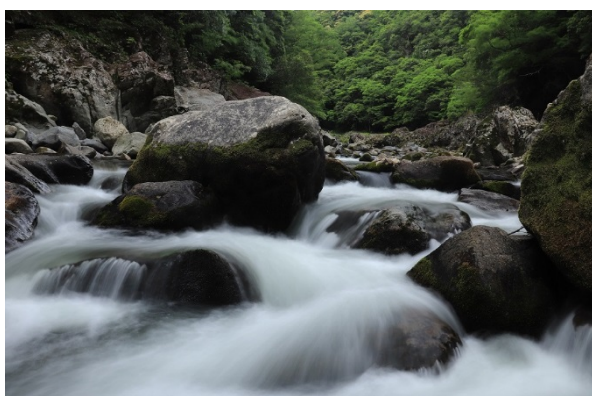
入選【人の暮らし部門】
『漁のひととき』 野間 幹雄（萩市）



入選【地球の営み部門】
『指月山と夕日』 林 克也（萩市）



入選【人の暮らし部門】
『時間軸の心地良い違和感～自然遺産をロケーションに。』 林 杏奈（東京都）



入選【地球の営み部門】
『時を刻む溪流、長門峡』 原田 剛志（萩市）

みなさんからの素敵な投稿写真をお待ちしています。

Mail : geo@city.hagi.lg.jp

令和2年度 萩ジオパーク推進協議会総会について

令和2年度萩ジオパーク推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、会合を取りやめ、書面決議を行うこととなりました。結果は次号でご報告します。

皆さんの特色あるジオパーク活動を応援します！

～萩市ジオパーク活動補助金のお知らせ～

ジオパークという手段を用いて持続可能な地域社会の発展を目指しつつ、大地の遺産を守り、学び、生かすための主体的で特徴のある皆さんの活動に対して、今年度も萩市は**ジオパーク活動補助金を交付**します。

補助金額は**最大25万円**。萩市に拠点のある市民活動団体や自治会・町内会などで構成する団体が対象です。補助対象の事業は令和3年3月20日までに完了することが条件です。**募集は5月22日（金）まで**。募集に関する詳しい内容及び申請書類は萩市公式ホームページからご確認できます（QRコードからアクセス可）。

「こういう活動に補助金が出るの？」から、「こんな活動がやってみたい」などのアイデアもお気軽にご相談ください。今はコロナ感染防止対策で積極的な活動はできませんが、今後、収束の際には多くの皆さんのジオパークを通じたいろんな活動が展開されることを期待しています。



昨年の活動実績



竹紙キャラバンによる出前授業
(2019/9/26 美祢市立大田小学校にて)



NPO萩元気食の会による「萩ふるさとごはんPJウインタークッキング」
(2019/12/21 旧木間小中学校にて)

休館のお知らせ

萩ジオパークビジターセンターのある萩・明倫学舎は、4月17日（金）から5月10日（日）まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から休館しています。

また、笠山展望台休憩室も閉鎖しています。回廊部分の立ち入りは可能ですが、密集・密接を避けて、眺望をお楽しみください。

※ 今後の感染状況を受けて、ビジターセンター開館及び休憩室の開放日が変わることがあります。ご了承ください。

問合せ：萩市ジオパーク推進課（0838-21-7765）

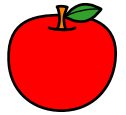


5月の予定 - Information -

最新情報は、HPやSNS等をご覧ください。インターネットを活用した講座等も企画しています。

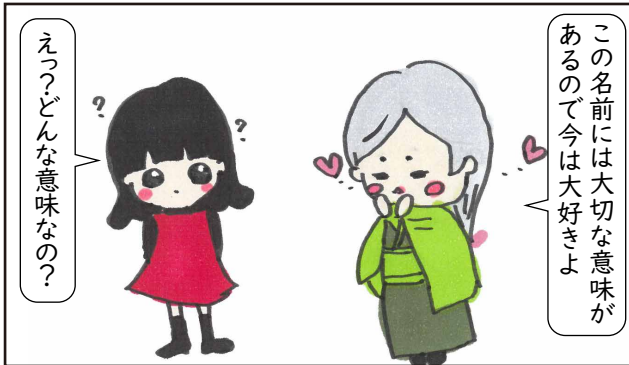
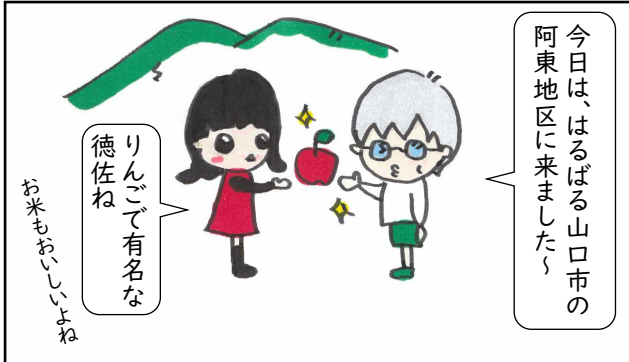


がんばれ!半田くん

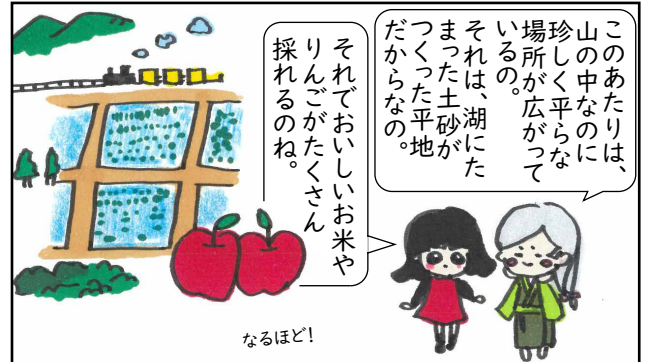


原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第26話 阿東の星、琴草子

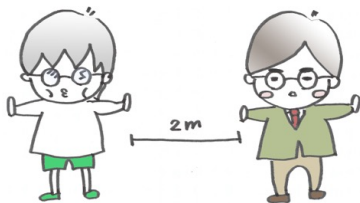


第27話 咳止め粉で平和な大地?



わっきー教授のつぶやき ~ひとこと解説~

皆さん、お元気ですか？って書き始めましたけど、今は日本中、世界中、大変な状況ですよ。皆さんも日々の生活の中で、いろいろ苦労なさったり、困ったりされていることと思います。それでも、時は刻み続けて、1日1日が少しずつ過ぎていきます。そんな日々を大切に生きていきたいものですね。



今月も、「がんばれ！半田くん」は歩みを止めません。今週の半田くん和笠山ちゃんは、萩ジオパークの中でも東に位置する阿東地域にやってきましたよ。徳佐りんごや阿東牛が有名でコシヒカリの産地としても、県内有数の場所ですよ。美味しいものがいっぱい。さて？今週は誰と出会って、どんな話が展開するのか？

今回、阿東地域を案内してくれるのは、りんご農家の「琴草子」さんです。名字が琴だから、音楽の関係者かな？と思うのは、朝ドラ『エール』の“音ちゃん”のファンですね。そうじゃないんです。この名前は、阿東地域北部に昔あった湖の名前なんです。古徳佐湖という湖が昔あったと言われています。もちろん、この湖があった時に誰かが命名したんじゃなくて、研究者が阿東地域の地質を詳しく調べて、昔ここに湖があったみたいだから、古徳佐湖という名前にしようと決めたんですね。だから琴草子さんの「こと・くさこ」という名前は、本当は「こ・とくさ・こ」となるんですね。こんなダジャレを考えたのは、誰じゃ？

阿東地域北部では、JR山口線の徳佐駅から北側に、広くて平らな土地が広がっています。山の中にあるこのような平地を「盆地」と言います。徳佐盆地とも呼ばれています。平地というのは、萩市街地みたいに、河川が海に出る三角州が作る平野が一般的です。山の中に広い盆地ができることには、必ずジオの秘密があるのです。

この徳佐盆地の秘密は、火山噴火にあります。約46万年前に、島根県との県境付近にある野坂山が噴火をしました。この噴火の前までは、徳佐地区の河川は、北側の津和野川の方へ流れていました。ところが、野坂山がこの川の流路をふさいで「通せんぼ」をしたために、川から流れてきた水はどんどん徳佐地区に溜まり続けて、ついに湖になってしまいました。これが古徳佐湖なんです。



昔の津和野川の流れ

日本は火山国なので、このように火山が川の流れを止めて、湖を作った例はたくさんあります。富士山の周りには、河口湖とか本栖湖なども、富士山からの溶岩でせき止められてできた湖です。栃木県の中禅寺湖も火山噴出物によってできたせき止め湖ですね (vol.57を見てね)。火山がつくる湖は、せき止め湖以外に、カルデラ湖(洞爺湖など)や火口湖(蔵王御釜など)があります。また、せき止め湖には、火山以外にも「土砂崩れ」「堆積物」「生物」によるものがあります。

古徳佐湖があった頃を想像してみてください。青く澄んだ水を湛えた古徳佐湖の周りには、緑いっぱいの森林が広がり、鳥や野生動物の楽園だったはず。「森と泉に囲まれて…♪」。

この美しい自然が一変する事件が次に起こります。それは、また次号のお楽しみです。その事件によって、お米やりんごがたくさん採れる広～い盆地ができたのです。わっきー教授は、美しい自然より、美味しいりんごが好きなのですが、皆さんはどちらがお好み？では、また来月まで、さようなら。



徳佐盆地。太古の湖の跡には広大な水田が広がる。奥に見える丸い山は野坂山